

国の債権に係る情報の公表

厚生労働省(年金特別会計国民年金勘定)

歳入金債権の発生額及び消滅額等の推移

(単位:百万円)

	令和3年度								令和4年度								令和5年度							
	管理対象債権額			消滅額					管理対象債権額			消滅額					管理対象債権額			消滅額				
					前年度以前発生分	本年度発生分		前年度以前発生分				本年度発生分		前年度以前発生分	本年度発生分					前年度以前発生分	本年度発生分			
	前年度以前発生未消滅債権分	本年度発生分	うち 不納欠損額						うち 不納欠損額	前年度以前発生未消滅債権分	本年度発生分						うち 不納欠損額	うち 不納欠損額	前年度以前発生未消滅債権分			本年度発生分	うち 不納欠損額	うち 不納欠損額
合 計	3,041,226	847,000	2,194,226	2,233,548	445,873	5,849	1,787,674	—	2,784,537	740,030	2,044,506	2,085,459	388,499	1,995	1,696,959	—	2,292,100	649,564	1,642,536	2,049,365	329,809	111	1,719,555	—
備 考	主な管理対象債権額 保険料債権 2,536,874百万円			主な消滅額 保険料債権 1,729,461百万円					主な管理対象債権額 保険料債権 2,400,795百万円			主な消滅額 保険料債権 1,701,948百万円					主な管理対象債権額 保険料債権 2,244,812百万円			主な消滅額 保険料債権 1,606,287百万円				

※消滅額の項中「うち不納欠損額」は、歳入徴収官事務規程(昭和二十七年大蔵省令第百四十一号)第二十七条第一項各号に該当する金額の合計額であり、消滅額の内数。

歳入金債権の年度末現在額の推移

(単位:百万円)

	令和3年度末現在額									令和4年度末現在額									令和5年度末現在額											
	一般分(徴収停止分を除く。)								徴収停止分		一般分(徴収停止分を除く。)								徴収停止分		一般分(徴収停止分を除く。)								徴収停止分	
	本年度発生債権分		前年度以前発生債権分		合計		本年度発生債権分	前年度以前発生債権分	本年度発生債権分		前年度以前発生債権分		合計		本年度発生債権分	前年度以前発生債権分	本年度発生債権分		前年度以前発生債権分		合計		本年度発生債権分	前年度以前発生債権分						
	履行期限到来額	履行期限未到来額	履行期限到来額	履行期限未到来額	履行期限到来額	履行期限未到来額			履行期限到来額	履行期限未到来額	履行期限到来額	履行期限未到来額	履行期限到来額	履行期限未到来額			履行期限到来額	履行期限未到来額	履行期限到来額	履行期限未到来額	履行期限到来額	履行期限未到来額			履行期限到来額	履行期限未到来額				
債権の種類																														
(部)国民年金勘定																														
(款)保険収入																														
(項)保険料収入																														
(目)保険料債権	807,412	406,527	—	400,885	—	807,412	—	—	—	698,846	347,532	—	351,314	—	698,846	—	—	—	638,525	318,968	—	319,556	—	638,525	—	—	—			
(款)雑収入																														
(項)雑収入	265	24	—	241	—	265	—	—	—	231	15	—	216	—	231	—	—	—	210	12	—	198	—	210	—	—	—			
(目)返納金債権	264	24	—	240	—	264	—	—	—	231	15	—	216	—	231	—	—	—	210	12	—	198	—	210	—	—	—			
(目)損害賠償金債権	0	—	—	0	—	0	—	—	—	0	—	—	0	—	0	—	—	—	0	—	—	0	—	0	—	—	—			
合 計	807,677	406,551	—	401,126	—	807,677	—	—	—	699,078	347,547	—	351,531	—	699,078	—	—	—	638,735	318,980	—	319,754	—	638,735	—	—	—			

※1 計数はそれぞれ単位未満切り捨てによっているので、端数において合計と合致しないものがある。